

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

# えくてびあん

〈EKUTEBIAN-VOL.5, AUGUST, 1988-EKUTEBIAN〉

8



まい あーと

■ オブジェ「船の人」

by 石橋富士子

# パンは焼きたて

オーロール 焼き釜の番から鍛えあげられた20年「なぜかって、パンがやっぱり好きなんだわ」とは伊藤さん。

精養軒 べーのが楽しい好きだね。そう、お家は先生だと田代さん。

パン屋さん 深川・川崎と修行を重ねて今、この立川で「パンは気合で焼かなきゃね」とおっしゃる常松さん。



一本のパン ハンドメイドのあたたかさをいつも心がけ、「焼き上げた時の感動が大切な」とは松岡さん。

ボンゲー 生地ひと折りひと折りに全身の力を込めて、そりや、思いやりの心で焼くのが一番だね」と門馬さん。



—パンがおいしい立川の街—

▼パンにもいろいろあるけれど、焼きたての味わいは、また格別なもの。うれしいことに立川にもありました。夏の暑さも何のその、いつも、焼きたてのおいしさを、と、額に汗してガンバッテいるお店が。それぞれに独自の工夫をこらして、その店ならではの美味しさ。パン焼きがまからココロイキが香ってくるではありませんか。

# “涼しさ”を運んでくれる立川人

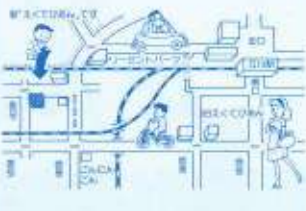
冷たい水、冷房、プール、etc.どれも夏を快適に過ごすには必要なものばかり。でも、その涼しさは、ひとりてにやってくるものじゃあ、ない。いるのです。自分は汗いっぱいでも、人々に“涼”を届けている人たちが、夏に欠かせない「裏方さん」なのであります。

## ? 立川クイズ

鮎は夏の多摩川の風物詩。昔は立川辺りでもよくとれて何と鶴飼もあつたのです。この鶴飼いで有名なのは長良川ですが、では、立川のそれ

## 速報! 「えくてびあん」

住み慣れた柴崎町を後にして、えくてびあんは富士見町2丁目に引越しました。とりあえずの事務所ではあります。5階からの眺めを楽しみつつ、紙面作りにいそいそと取り組んでいます。以前同様お気軽にどうぞ。



〒190 立川市富士見町2-20-15  
パークビューハイツ501  
☎0425-28-0082です。

①長良川と同じく鶴飼は舟の上の鶴飼も川に入って鶴を使ふ。②鶴飼は川原から鶴を操る。③鶴飼は川原から鶴を操る。【七月号の答え】

もう一つの柴崎町は現在の調布市柴崎・国領の一部です。①どんな漁法だったでしょう。②長良川と同じく鶴飼は舟の上の鶴飼も川に入って鶴を使ふ。③鶴飼は川原から鶴を操る。【七月号の答え】



暑いホームからひと足ウイルに駆け入れれば、いやはや別世界。皆さんもこんな思いはないですか。お客様に快適な時間を過ごして頂くために、出たり入ったりの際、汗をふきふき足廻りとか調整は、汗をふきふき足廻りとか

プロの水は48時間、手間ひまをたっぷりかけて作るのだそう。暑くなるに殺到する。大至急コール。人手の確保やら交通の渋滞やら苦勞はつきないが、大正創業の福島水室さん、町へこの道一筋の爽やかさである。

一日中、照りつける太陽の下で「とにかく暑い」と。お客様の安全と、いかに気持ちよく注意を聞いてもらうか、水を見ているのは楽しい。と若々しい声。マイク片手に今日もがんばるレインボープールの頼もしい若者たちである。



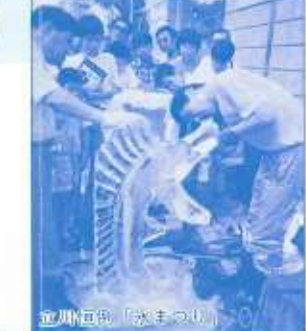
フアッシュヨナブルな夏の外出で街を遊泳する人々。こんな季節、決して手にするのはアイスである。アイスがギッシリ詰った清水製菓本舗さん(富士見町)の倉庫を覗くと、室内30度だが出入の激しさにも汗だくの毎日。

**Thank you!**

6月25日のご協力ありがとうございました。皆様よりお寄せいただいたお礼状を拝見し、心から感謝申し上げます。ご支援いただいた皆様、誠にありがとうございました。また、ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

エコハンドベルリンガーズチャリティコンサート実行委員会

暑いホームからひと足ウイルに駆け入れれば、いやはや別世界。皆さんもこんな思いはないですか。お客様に快適な時間を過ごして頂くために、出たり入ったりの際、汗をふきふき足廻りとか調整は、汗をふきふき足廻りとか



**漢字テスト**

空欄に一字挿入を試みよ。

大旱 慈  
山 ● 水 明



**真如苑だより**

陽が沈む時間がのびて、子供たちのしゃべり声も夕飯時まで聞えます。これから季節、暑さに負けてしまいがちですが、夏休み中、真夏の陽射しと元気に仲良く付き合いたいです。

日時 8月13日(出) 午後2時~4時

■御本尊、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。

■立川市民(成人)に限らせて頂きます。

■お申し込みは「えくてびあん・コンパクト」(本誌)を手渡ししてください。

わが里に聞き慣れぬ市。が出現。題して、パッカリ市。7月2日・3日の両日緑町の市営臨時北口駐車場に2万人の市民が賑やか



表紙は語る

表紙の作品「船の人」は、ウィルギヤラリーに展示された作品で、人が旅をする時の手段を抽象的に表現したものだ。この作品のように、手がけるのは立体的なものほとんどという作者の石橋富士子さん、今やデザイナー、アートディレクターとして

昭和二十二年、終戦を迎えると同時に進駐軍輸送担当課長として横濱に事務所を構え、米軍輸送の他、外地から撤退して来る復員兵や引き揚げ者の輸送に当たった。当時の鉄道はGHQの支配下であった。進駐軍のそれは全てが野戦的発想であり、米軍の輸送指令も口頭で行われた。白帯車、以鉄道マンの悔し涙をよそに我物顔で線路を走り回り、機関士にピストルを突きつけて野戦用のディゼル機関車を走らせた(向坂唯雄著「機関士走り続けた」四万四千日)より時代である。植松氏は事後処理が一段落すると、輸送指令を口頭から書類にするよう働きかけた。

昭和三十三年二月、川口駅長に就任。同三十五年二月には立川駅長となった。

植松駅長就任当時、朝夕の混雑緩和のため地下通路拡張工事が行われていたが、昭和三十五年四月一日、その完成を待って東京寄りであった古い木造の跨線橋を取り壊した。

昭和三十六年夏、天皇陛下が玉皇会館の開所式に向かわれるため青梅線に入られた時のことである。お召し列車は立川駅に一旦停車した後、短絡線経由で青梅線に入るため、植松駅長が出発指示合図を行うことになった。車掌や助役の経験のない植松駅長にとって生まれて初めての出発指示合図であり、しかもそれがお召し列車となれば緊張も一入である。しかし、お召し列車の出発指示合図は駅長自ら行わなければならない。規程があり、代務者が立てるわけにはいかない。また、制服も、川口駅長夏服と制帽がそれぞれ一着ずつあるだけで、共にかなりくたびれていたため、管理局へお召し列車用に新品の繰り上げ支給を依頼したが、制帽だけは許さず、やむを得ず、急いで私服を新調し急場に間に合わせた。

当日は船橋指導助役(後の二代立川駅長)の細かいアドバイスのもと、無事に任務を果たすことができたが、緊張で身体中に汗が流れていたという。それが、三十六年余りの鉄道生活の中で、最初で最後の出発指示合図であったと植松氏は感慨深げに語った。



**立川駅長列伝**

8 中野 明

昭和二十二年、終戦を迎えると同時に進駐軍輸送担当課長として横濱に事務所を構え、米軍輸送の他、外地から撤退して来る復員兵や引き揚げ者の輸送に当たった。当時の鉄道はGHQの支配下であった。進駐軍のそれは全てが野戦的発想であり、米軍の輸送指令も口頭で行われた。白帯車、以鉄道マンの悔し涙をよそに我物顔で線路を走り回り、機関士にピストルを突きつけて野戦用のディゼル機関車を走らせた(向坂唯雄著「機関士走り続けた」四万四千日)より時代である。植松氏は事後処理が一段落すると、輸送指令を口頭から書類にするよう働きかけた。

昭和三十三年二月、川口駅長に就任。同三十五年二月には立川駅長となった。

植松駅長就任当時、朝夕の混雑緩和のため地下通路拡張工事が行われていたが、昭和三十五年四月一日、その完成を待って東京寄りであった古い木造の跨線橋を取り壊した。

昭和三十六年夏、天皇陛下が玉皇会館の開所式に向かわれるため青梅線に入られた時のことである。お召し列車は立川駅に一旦停車した後、短絡線経由で青梅線に入るため、植松駅長が出発指示合図を行うことになった。車掌や助役の経験のない植松駅長にとって生まれて初めての出発指示合図であり、しかもそれがお召し列車となれば緊張も一入である。しかし、お召し列車の出発指示合図は駅長自ら行わなければならない。規程があり、代務者が立てるわけにはいかない。また、制服も、川口駅長夏服と制帽がそれぞれ一着ずつあるだけで、共にかなりくたびれていたため、管理局へお召し列車用に新品の繰り上げ支給を依頼したが、制帽だけは許さず、やむを得ず、急いで私服を新調し急場に間に合わせた。

当日は船橋指導助役(後の二代立川駅長)の細かいアドバイスのもと、無事に任務を果たすことができたが、緊張で身体中に汗が流れていたという。それが、三十六年余りの鉄道生活の中で、最初で最後の出発指示合図であったと植松氏は感慨深げに語った。

目ざましい活躍ぶりだが、もともとはO.L. 仕事のかたわら、イラストなどを手がけていたが、やはり好きな道に、と現在の仕事一本に専ら作らねばならないと思っ作るのはないんです。趣味を仕事にしてしまったので別に苦しまないでも自然に出来るんです。その時によって出て来るテーマを、いい時に、いい方法で表現したい。作風の自由さもある。と納得。年一回個展を開いていきたいと、意欲満々。



月刊「えくてびあん」第49号

昭和六十三年八月一日 発行

発行所 えくてびあん編集工房

東京都立川市柴崎町2-4-11

ファインアートデザイン3F

電話 0425-28-0082

編集人 立井啓介

発行人 沖野嘉男

印刷所 株式会社

「編集」石橋富士子 神山洋子 関川洋子 田中重子 田中重子 田中重子 田中重子

「写真」天野武男 板橋一明 吉田敬市

スタジオZ69

**工房から**

立川市民の手で、エコハンドベル・リンガーズをカーネギーホールへ送り出すことが出来た。指揮者の児玉勝己さんが工房にいられて、皆さまによるしくとこのこと、ございました。有難うございました。

●世界へ響いたと云えば女子体操でご存知、信田美帆さん(高松町)がソウルへ向かっています。あまはそんなことを考えている時ではない、勝つてきてください。立川の夢」をのせて。●北口大通りで行なわれる「氷まつり」が今年で4回目、すっかり立川の風物詩として定着しました。今年7月23日、山びこが、駒にたなびくえくてびあん。

「編集」石橋富士子 神山洋子 関川洋子 田中重子 田中重子 田中重子 田中重子

「写真」天野武男 板橋一明 吉田敬市

スタジオZ69

三菱の自動つみたて定期預金

三菱銀行 立川支店

三菱の自動つみたて定期預金

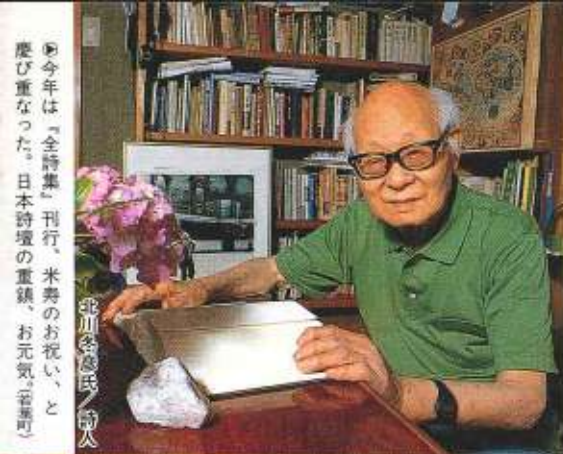
三菱銀行 立川支店

# あーとさろん

今月はペンに生きる人々をご紹介します。

詩人、脚本家、エッセイスト。

それぞれのジャンルでみなさん独自の世界を築いていらつしやる。筆と紙に思いのたけを語らせて…。



北川各慶氏 / 詩人

◎今年「全詩集」刊行、米寿のお祝い、と慶び重なった。日本詩壇の重鎮、お元気(若輩可)



池田氏 / エッセイスト

◎「道具」についてのユニークなエッセイは氏の独壇場。徹底した実証主義が汗えて。(若輩可)



大塚氏 / エッセイスト

◎ルーマニアに惚れ込んで、一年の大半はあちらに。代表作『明日は貴族だ』。(若輩可)



阿倍徹郎氏 / シナリオライター

◎観る人の心に、何か一つ残るものを、と。ご存知「必殺仕掛人」等、作品多数。(保町)